

いじめを起こさないためのスクラムを

東京都教育庁指導部管理課長 高木 敦子

先月26日、都内の中学1年生が自らの命を絶つという、大変悲しいことが起きました。亡くなられた生徒の御冥福を心よりお祈りいたします。

都教育委員会では、このことを踏まえ、「いじめを決して許さず、社会全体で子供たちの尊い命を守るために」、10月4日に「いじめ問題に関する緊急アピール」を行いました。各学校では、既に子供たちと共に考え、話し合うための題材として御活用していただいたものと思います。

先生方におかれましては、いじめを起こさない、また、起きてしまったいじめの解決に向け、日々、ご努力いただいていることと思います。

都教育委員会でも、「児童・生徒の健全育成緊急対策本部」のもと、専門家会議を立ち上げ、社会全体でいじめを許さない機運の醸成、相談体制の充実など、関係機関と連携を強化し、「いじめの総合対策の充実」を図るため、全力で取り組んでおります。

子供たちにとって、最も身近で、信頼できるのは先生方です。どうか、あらゆる機会を通して、子供たちに語りかけ、子供たちの心に寄り添い、子供たちを支援してください。

また、いじめが発生しないように、先生同士はもちろん、保護者や地域の方々とも、「Scrum」を組んで、いじめ問題に取り組んでいただければ幸いです。

明日の東京の教育は先生方にかかっています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

《 目 次 》

- 平成24年度 全国学力・学習状況調査結果に基づく
『授業改善のポイント』を作成しました。 2
 - 1 「調査結果の概要」と「設問ごとの正答率」
 - 2 「問題と分析」と「授業改善のポイント・指導の手だて」
- 「理数教育の窓」 第2回
—理数好きの子供たちを育てるために— 5
- 「道徳教育の窓」 第3回
—東京の子供たちの豊かな心を育む— 6
- 「特別支援教育の窓」 第3回
—全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して— 7

— 外国語活動教材配布のお知らせ —

文部科学省が作成した「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践映像資料2」が、10月中に区市町村教育委員会から各小・中学校に配布されます。是非御活用ください。

平成24年度 全国学力・学習状況調査結果に基づく『授業改善のポイント』を作成しました。

8月8日に、平成24年度全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。この結果を踏まえ、都教育委員会では、調査結果や調査問題の分析から東京都の児童・生徒のどこに課題があり、その課題を解決するためにどのような取組が必要なのかを明らかにした指導資料（リーフレット）、「平成24年度 全国学力・学習状況調査結果に基づく『授業改善のポイント』」を作成し、10月下旬に都内各小・中学校に配付します。児童・生徒の確かな学力の向上に向け、指導改善を図るために、是非御活用ください。

平成24年度 全国学力・学習状況調査に基づく 授業改善のポイント

平成24年度 全国学力・学習状況調査の概要

【調査の目的】
 基礎学力の向上と学力の向上に資する観点から、全国的な児童生徒の学力の学習状況の把握、分析し、教育課程の改善と指導改善に、その結果を踏まえて、そのような取組を通じて、児童に与える適切な学習指導のあり方を明らかにし、また、学校における指導改善への効果的な取組のあり方を明らかにすること。

【調査の対象学年】 小学校3・4・5学年、中学校1・2・3学年、高等学校1・2・3学年
 【調査の方法】 紙とコンピュータによる方式
 【調査の時期】 平成24年4月17日（木）

1 教科に関する調査
 ① 国語に関する調査（読解、作文、漢字、書写）
 ② 算数に関する調査（算数）
 ③ 理科に関する調査（理科）
 ④ 社会に関する調査（社会）
 ⑤ 外国語に関する調査（英語）
 ⑥ 音楽に関する調査（音楽）
 ⑦ 美術に関する調査（美術）
 ⑧ 体育に関する調査（体育）
 ⑨ 保健に関する調査（保健）
 ⑩ 生活に関する調査（生活）
 ⑪ 総合的な学習の時間に関する調査（総合的な学習の時間）
 ⑫ 学校に関する調査（学校）

2 学習に関する調査結果の概要

目次

1 教科に関する調査結果の概要

1 小学校3・4・5学年の調査結果・授業改善のポイント・指導の手引き

2 小学校3・4・5学年の調査結果・授業改善のポイント・指導の手引き

3 小学校1・2・3学年の調査結果・授業改善のポイント・指導の手引き

4 中学校1・2・3学年の調査結果・授業改善のポイント・指導の手引き

5 高等学校1・2・3学年の調査結果・授業改善のポイント・指導の手引き

6 教科に関する調査結果から見た児童・生徒の学習状況

7 生活に関する調査結果から見た児童・生徒の学習状況

8 学校に関する調査結果から見た児童・生徒の学習状況

9 調査結果の活用

10 調査結果の活用（授業改善のポイント）

11 調査結果の活用（指導改善のポイント）

12 調査結果の活用（学校改善のポイント）

13 調査結果の活用（地域連携のポイント）

14 調査結果の活用（国際交流のポイント）

15 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

16 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

17 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

18 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

19 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

20 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

21 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

22 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

23 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

24 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

25 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

26 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

27 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

28 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

29 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

30 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

31 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

32 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

33 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

34 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

35 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

36 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

37 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

38 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

39 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

40 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

41 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

42 調査結果の活用（生涯学習のポイント）

平成24年10月
東京都教育委員会

1 「調査結果の概要」と「設問ごとの正答率」

5 中学校数学の調査結果・概要

中学校数学

(1) 調査結果の概要

A 数字A

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	23.0問/36問	63.9%	24.0問	7.9
全国	22.4問/36問	62.1%	23.0問	7.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

正答率分布

B 数字B

	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
東京都	7.7問/15問	51.3%	8.0問	4.0
全国	7.4問/15問	49.3%	7.0問	3.9

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）

「調査結果の概要」では、A問題・B問題それぞれについて、東京都と全国の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等のデータと、正答数分布のグラフ及び観点ごとの結果をまとめています。

各教科の調査結果について、都と全国がどのような状況にあるのかを把握することができます。

(3) 設問ごとの正答率

小学校国語

設問の概要

設問番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1-1(1)	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	90.5	1.3	89.3	1.3
	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	93.2	2.4	92.1	2.4
	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	96.0	1.4	95.2	1.3
1-1(2)	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	85.2	4.0	83.1	4.2
1-2(2)	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	83.4	1.8	82.8	1.6
1-2(3)	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	91.1			
2	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	69			
3ア	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	90			
3イ	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	83			
4	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	78.0			
5ア	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	91.9	1.7	92.1	1.6
5イ	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	92.6	1.9	92.2	1.7
6	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	77.2	1.4	71.8	1.4
7	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	45.9	7.9	43.2	7.1
8	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	61.3	7.2	79.7	6.6
9-1	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	83.3	7.3	82.7	6.7
9-2	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	81.4	7.7	81.4	7.0
国語B					
設問番号	設問の概要	東京都(公立)		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1-1	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	66.3	2.5	64.8	2.4
1-2	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	56.6	7.5	55.2	7.0
1-3	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	35.0	2.2	29.5	2.1
2-1	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	85.1	2.6	84.3	2.5
2-2	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	55.7	15.0	52.6	14.5
2-3	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	55.9	7.5	52.2	7.6
3-1ア	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	88.8	2.9	87.3	2.6
3-1イ	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	48.4	9.5	45.0	9.0
3-2	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	73.0	4.2	71.0	3.8
3-3	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	64.5	4.7	57.6	4.2
3-4	漢字を讀む。(新しいビルを建築する)	39.9	17.9	37.7	17.0

正答率・無解答率

「設問ごとの正答率」では、全設問について、設問の概要、東京都と全国の正答率、無解答率を掲載しています。

2 「問題と分析」と「授業改善のポイント・指導の手だて」

小学校理科

イ 地球

4(5) 天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を説明する。

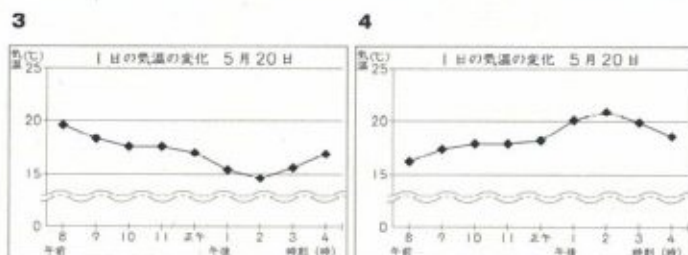
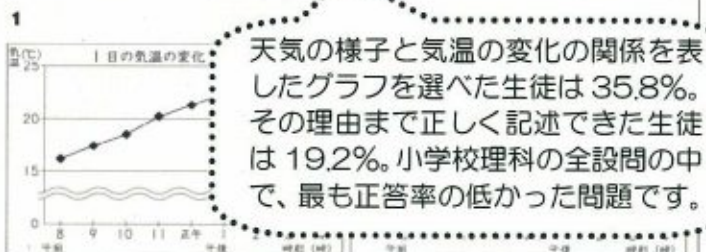
設問の概要

この日のかげのようすから1日の天気を考えると、気温の変化を表したグラフはどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

課題のある設問

観察記録 5月20日

午前10時から正午前までは、木のかげがありませんでした。



正答の条件

4と解答し、次の①、②、③の全てを記述している。

- ① 「午前10時から正午前まで」など、時間を示す趣旨で解答しているもの
- ② 「くもっていた」など、天気の様子を示す趣旨で解答しているもの
- ③ 「気温はあまり変わらない」など、気温の変化を示す趣旨で解答しているもの

解答類型

4と解答	①、②、③の全てを記述しているもの(正答)				12.5%
	①、②を記述しているもの(準正答)				2.7%
	①、③を記述しているもの(準正答)				4.0%
	②、③を記述しているもの				3.5%
	上の4つの類型以外の解答または無解答				13.1%
1と解答	2と解答	3と解答	その他の解答	無解答	
19.8%	18.5%	18.5%	0.3%		

設問の分析

【分析】

本問は、天気の様子と気温の変化とを関係付けて、気温の変化を表したグラフを選択し、その理由を説明できるかをみる問題である。正しいグラフ「4」を選択した割合は35.8%であり、理由を適切に説明できた割合は19.2%である。

誤答の中で最も反応率が高かったのは「1」で、19.8%の反応率である。この誤答の要因としては、木のかげの様子から、この日の天気が晴れていたことを捉えることはできたが、1日の中でくもりの時間帯が長かったことによるものと考えられる。

誤答「2」の反応率が低かったことにとらわれず、誤答「3」の反応率も高かったこととを踏まえて、これらのことから、「木のかげの長さ」を抽出し、誤答の要因の分析等から、どこに課題や学習のつまずきがあるのかを明らかにしました。



(5) 中学校国語 授業改善のポイント・指導の手だて

ア 国語A

【授業改善のポイント】

授業改善のポイント

目的に応じて必要な情報を取り出させ、比較・整理させる指導の充実を図る。

【指導の手だて(例)】国語A[6]を基にした効果的な授業展開

身近な衣類や素材の性質について調べたことを分かりやすくまとめ、発表しよう。

効果的な指導の手だて

綿の素材の性質について興味をもった山田さんは、身近な衣服やその素材の性質について調べた。以下は、山田さんが調べたことをまとめている「下書き」です。

私の持っているシャツは、木綿製です。コットンとも呼ばれています。綿の実から取った繊維です。木綿は肌触りがよく、強く丈夫です。また吸湿性にもすぐれているので、肌着等にもよく用いられています。私たちがよくはくジーンズに使われているデニムも、素材は木綿です。しかし、一方で、シワになりやすい、縮みやすいといった性質もあり、また、変色や色移りが起こりやすいので洗濯の際には注意が必要です。

母の使っているスカーフは、絹製です。シルクとも呼ばれています。シルクの特徴は、軽くてやわらかく、そして真珠のような光沢があるところです。吸湿性にも優れています。一般的に木綿の製品よりも高価なものが多いようです。

<スカーフに付いていた取り扱い絵表示>



1 目的を把握する

調べたことを分かりやすくまとめ、発表しよう。

<教師の声かけ例>

発表原稿を見直してみよう。

教師の声かけ例

- 木綿についてはよく調べてあって分かりやすいね。
- 絹の絵表示の意味がこのままでは分からないよ。
- 木綿についても絵表示を示したらよいのでは。
- それぞれの特徴をもっと見やすくできないだろうか。

生徒の反応例

2 必要な情報を取り出し比較する

<教師の声かけ例>

木綿と絹について、書かれている情報と足りない情報をそれぞれ挙げてみよう。

- 性質や特徴ごとに、表にまとめ、表の中の1、2、3…に分類した項目を書くときよいのでは。

	木綿(コットン)	絹(シルク)
1	綿の実から取った繊維	?
2	肌触りよい 強い 丈夫	軽い やわらかい 光沢
3	吸湿性○	吸湿性○
4	?	
5	シャツ 肌着	
	シワ 縮み	
...	

情報を比較し、どの工夫をさ

「授業改善のポイント・指導の手だて」では、「問題と分析」で取り上げた設問を基に、課題や学習のつまずきの解決のための授業改善のポイントと効果的な指導の手だてを提案しています。

3 さらに必要な情報を整理してまとめる

<教師の声かけ例>

さらに発表原稿を分かりやすくするためには、どのような工夫をしようか。

- 絹の原材料について調べていないけれど、他に何か関係しているか。
- 木綿はどの洗剤や漂白剤でも大丈夫なのかな。

その他にも、「児童・生徒質問紙」や「学校質問紙」の調査結果と、各教科の平均正答率との相関を示すクロス集計の分析を基に、指導改善に向けた具体的な取組を紹介しています。

4 必要な情報を収集して、発表

確かな学力の向上に向けた授業改善のための資料として、是非御活用ください。

「理数教育の窓」 第2回

—理数好きの子供たちを育てるために—

理数教育振興研究協力校の取り組みについて

今年度、東京都教育委員会は、理数教育振興研究協力校（以下、研究協力校という。）を 15 校設置しています。

研究協力校（小学校 10 校、中学校 5 校）

小 学 校		中 学 校
港区立青南小学校	渋谷区立常磐松小学校	千代田区立麹町中学校
練馬区立春日小学校	葛飾区立梅田小学校	渋谷区立鉢山中学校
府中市立府中第一小学校	昭島市立成隣小学校	荒川区立第三中学校
調布市立布田小学校	町田市立忠生小学校	葛飾区立堀切中学校
国分寺市立第一小学校	東久留米市立第二小学校	調布市立第四中学校

研究協力校は、東京都理数教育振興施策検討委員会*から提言された理数教育の充実に向けた取り組みを試行し、その成果と課題について東京都理数教育振興施策検討委員会に報告することを主な役割としています。

現在、各研究協力校は、学校の実態やこれまでに実施してきた取り組み等を踏まえ、次の 7 点のうち、2～4 点を選択して、試行しています。

研究協力校が試行している取り組み

	試行している取り組み	概 要
1	理科支援員の活用 [小学校のみ]	理科支援員を活用し、その効果と課題についてまとめる。
2	CST（コア・サイエンス・ティーチャー）の活用 [小学校のみ]	CSTを活用した校内研修（実技研修等）を実施する。また、CSTが他の教員に指導・助言を行う場面を設定する。
3	効果的な指導法や教材・教具の開発	効果的な指導法や教材を開発し、授業で実践・活用する。
4	小・中連携の推進	小学校と中学校とが連携し、授業交流や出前授業などを実践する。
5	地域や企業、大学等との連携の推進	地域や企業、大学等と連携し、ゲスト・ティーチャーの派遣を受けたり、教材開発や教材準備等で支援を受けたりする。
6	科学に関するクラブや部活動の実施	科学に関するクラブや部活動を実施するとともに、他の児童・生徒に対して研究の成果を発表する場面を設定する。
7	学校公開の実施	理科の授業公開を行うとともに、保護者等を対象とした理科に関わるワークショップや講演会、意見交換会等を行う。

研究協力校における取り組みの成果と課題につきましては、平成 24 年度末に作成する「東京都理数教育振興施策検討委員会 報告書」に掲載する予定です。この報告書は、都内公立小・中学校及び区市町村教育委員会に配布するほか、東京都教育委員会ホームページにも掲載します。

各学校におかれましては、理数教育の充実に向けて、研究協力校の取り組みをぜひ参考にしてください。

*…東京都理数教育振興施策検討委員会とは

東京都の公立小・中学校における理数教育振興を図るため、理数教育に関わるこれまでの事業の効果検証を行い、理科授業における課題及び解決策を明確にし、東京都における理数教育の振興に向けた基本的な考え方を策定するための検討・協議を行うことを目的として、今年度、東京都教育委員会が設置しています。

「道徳教育の窓」第3回

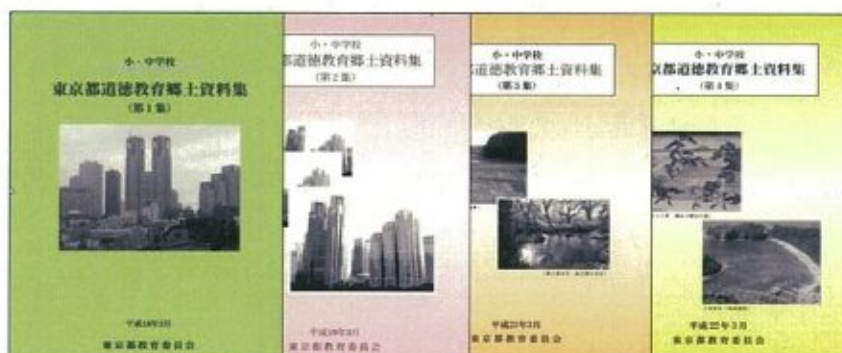
— 東京の子供たちの豊かな心を育む —

東京都道徳教育郷土資料集

東京都道徳教育読み物資料集の活用について

第2回の連載でもお伝えしましたが、今回の学習指導要領の改訂で、道徳教育の目標には小・中学校ともに、従来の目標に「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し」が加えられました。都教育委員会では、東京都の児童・生徒に郷土や国に対する愛着や誇りを育むために、児童・生徒が日常の体験を想起し実感を深めやすい地域教材として、平成18年3月に『小・中学校 東京都道徳教育郷土資料集（第1集）』を発行し、平成22年3月までに第4集を都内公立小・中学校に配布しました。

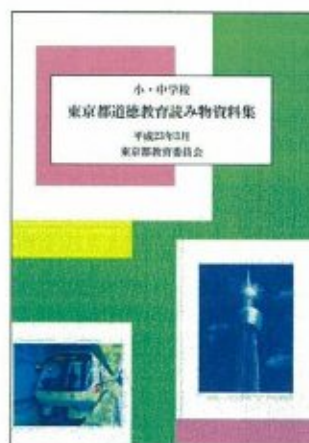
各資料集では、小学校の低学年・中学年・高学年、中学校について、それぞれ4編～6編の読み物資料を掲載しています。



『小・中学校 東京都道徳教育郷土資料集（第4集）』より
低学年：こまった ちゅんきち（福生市）・すいぞくえんの なかよし（江戸川区）など5編
中学年：オオカミのおんがえし（日の出町）・北斎通り（墨田区）など6編
高学年：より良い物を目指して（足立区）・ふるさとの川（三鷹市）など5編
中学校：幻の梨（稲城市）・最後の楽園を守れ（小笠原村）など5編

また、今の東京に息づく、東京ならではの魅力あふれる文化や伝統、長い間受け継がれてきた精神や知恵、そして、未来に向けて新しいものを創造し続ける今の東京を象徴するような事柄を取り上げ、児童・生徒にとって魅力ある読み物資料を作成し、平成23年3月に『小・中学校 東京都道徳教育読み物資料集』として発行しました。

東京都道徳教育教材集中学校版『心みつめて』及び今年3月に配布する小学校版については、これらの読み物資料集と併せて多様な活用ができるように、内容等を工夫しています。これらの資料集の読み物教材は、都教育委員会のホームページにある「学び応援ページ」の中の「道徳教育」にPDFファイルで紹介していますので、ダウンロードして御活用ください。



<素材の例>

- ・東京マラソン
- ・高尾山
- ・東京ER
- ・江戸切子
- など

「特別支援教育の窓」 第3回

—全ての学校で実施する特別支援教育の推進を目指して—

学習障害（LD）の児童・生徒の支援

学習障害とは

- 全般的な知的発達に遅れはないが、特定の学習に著しい困難がみられる状態
 - ・学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すものである。
 - ・学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害などの障害や、環境的な要因が直接的な原因となるものではない。

文部省 平成11年7月「学習障害児に対する指導について（報告）」より抜粋

学習障害の児童・生徒の困難さは一人一人違います。学習の多くの場面で様々な種類の困難を示す児童・生徒もいれば、特定の場面でのみ困難を示す児童・生徒もいます。例えば、本を読むときに、読んでいる箇所が分からなくなってしまうたり、字を書くときに、バランスの悪い読みにくい字になってしまうりする等の、読み書きで困難を示す児童・生徒もいます。

このような児童・生徒は、人とのかかわり等の社会的な行動では、課題や困難が目立ちません。そのため、学級の中で支援の必要性があることを見過ごされてしまうことがあります。しかし、困難を抱える児童・生徒本人は、どうしていいかわからず、不安や焦りを感じているのです。

授業中、読んだり、書いたり、計算したりする学習の場面で、児童・生徒の読み方や書き方等の様子を注意深く観察することが大切です。

読み・書きの観察ポイント

○読みの観察ポイント

- ・文中の語句や行を抜かしたり、繰り返したりしないで読める。
- ・初めて出てきた語や、普段使わない語などを間違えずに読める。
- ・読み誤り（「いきました」を「いました」と読む等）をしない。
- ・拗音（きゃ、きゅ、きょ等）や促音（きって等）を正しく読める。
- ・年齢相応の速度で読める。

○書きの観察ポイント

- ・字の形や大きさが整っている。
- ・正しい筆順で書ける。（独特の筆順ではない）
- ・漢字の細かい部分の書き間違いがない。
- ・句読点を正しく打つことができる。
- ・拗音（きゃ、きゅ、きょ等）や促音（はっば等）を正しく書ける。

観察で気になることがあったら

①観察を続けて資料を集める。

- ・うまくいくときは、どんなときか。
 - ・どんなところで特につまずきやすいか。
- ※ 資料をもとに、他の先生方とも協議し、必要があれば専門家チーム等に助言を求めます。

②できるところをたくさん見つけて伸ばす。

★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを送信してください。

なお、本メール・マガジンは、pdfファイルにて提供いたしますので、携帯電話では読むことができない場合があります。